



2020年8月19日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス カ ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 兼 社 長 執 行 役 員
 椰 野 憲 克
 （ 東 証 一 部 ・ コ ー ド 4 8 4 5 ）
問 合 せ 先 取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員
 木 下 朝 太 郎
 （ T E L 0 3 - 6 4 1 8 - 3 9 6 0 ）

株式会社スカラ、ミャンマー最大級の IT 企業 ACE 社との 合併会社設立に関するお知らせ

～事業創成インキュベーション、ヘルステック、教育テック、アグリテックの推進で
国家戦略レベルのデジタルトランスフォーメーションを支援～

株式会社スカラ（本社：東京都渋谷区、代表者：椰野憲克、以下「当社」）は、ミャンマー連邦共和国（以下、「ミャンマー」）の現地法人 ACE Data Systems Ltd.（本社：ヤンゴン市、会長：U Thein Oo、以下「ACE 社」）と合併会社 SCALA ACE Co., Ltd.（本社：ヤンゴン市、Managing Director：椰野憲克、以下「SCALA ACE」）を設立しました。

SCALA ACE は、ミャンマーにおいて、教育・医療・農業の分野で AI/IT/IoT を活用してミャンマーの社会課題の解決を図るとともに、継続的に発展するための事業創出基盤を築いて参ります。

1. 背景と目的

創業以来、IT・新規事業開発・ファイナンスにより顧客のニーズを柔軟に形にしながら独自のストックビジネスモデルで継続成長してきた当社は、更なる成長を目指して「クライアントと共に社会問題をビジネスで解決する、価値共創企業」へと展開する計画について、2019年8月14日開示の「中期経営計画 COMMIT5000」で発表いたしました。

当社が培ってきた3つの能力「①真の課題を探り出す能力」「②リソースの埋もれた価値を炙り出す能力」「③課題とリソースの最適な組み合わせを提案・実行し価値を最大化する能力」をもとに、国内の民間企業だけでなく、国内外の民間・政府・自治体へとサービス提供の範囲を拡大し、地域、国、地球レベルの課題を解決するための価値共創プラットフォームを実現していく計画となっています。

特に、AI/IoT を用いたデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）を推進し、事業成長を加速するというテーマの中で、当社グループは、国内外の DX を推進するための開発リソース獲得と社会問題解決型事業の創出を目的に、2018年12月にミャンマーのマンダレーに支社を設立致しました。当該支社では現地採用を積極的に進め、現在では30名を超えるIT開発拠点を構築し、既に当

社グループの日本国内クライアント向けの IT サービス開発を、国内開発チームと共同で進めています。また同時に、マンダレーの IT 大学と共同でインキュベーションセンターの立ち上げを検討しており、国際レベルの即戦力エンジニアの育成やマンダレー発のテックスタートアップ起業家育成から新たな産業創出に繋げてミャンマーの急速な経済成長を図る目的を軸に検討を重ねています。

加えて当社は、2020 年 6 月にミャンマーにおいて遠隔医療サービスを提供するヘルステック企業の MyanCare Co., Ltd.に出資を行い、ヘルスケア DX の推進を発表したように、ミャンマーにおける社会問題解決型事業を推進しています。

・ウェブサイト：<https://scalagrp.jp/news/2020/06-myancare/>

本合併会社設立にあたり、教育、ヘルスケア、農業の分野におけるミャンマーでの真の課題をつかみ、課題解決のためのソリューション提供からミャンマーの継続発展につながるインキュベーション、ヘルステック、アグリテックに関する事業創出に注力するため、ミャンマーの有力な実業家であり ACE 社の創業者である U Thein Oo 会長と議論を重ねて参りました。U Thein Oo 会長は、ミャンマーの IT 黎明期から IT 産業発展に寄与し続け、ミャンマーコンピュータ連盟の代表を務めるなど、数多くの実績を有しています。

2. ACE 社について

ACE 社は、ミャンマー最大級のシステム開発会社であり、1992 年にソフトウェア会社および IT トレーニングセンターとして設立されました。現在 ACE Data Systems Group は、銀行、ホテル、小売、保険等の顧客向けにソフトウェア開発とシステム統合、ICT コンサルティング、アウトソーシング、IT インフラストラクチャとサイバーセキュリティ、教育サービス、e コマース等の事業を展開し、850 人以上の従業員を持つ 21 社のグループ企業を擁しています。

・ウェブサイト：<https://acedatasystems.com/>

ACE 社は、既に多数の外国企業との合併事業を展開し、また、オフショア開発で多数の先進国大手 IT 企業とも親密な関係を築いておりますが、国家戦略レベルの DX による課題解決という視点で、当社グループが持つ、「①真の課題を探り出す能力」「②リソースの埋もれた価値を炙り出す能力」「③課題とリソースの最適な組み合わせを提案・実行し価値を最大化する能力」について高く評価したことから、今回新たに、当社と合併会社を設立することになりました。

当社は、ACE 社がエンジニア育成やミャンマー政府関連の IT プロジェクトの経験も豊富なことから深く連携し、ACE 社と共に、国家戦略レベルの DX を支援することでミャンマーの発展に貢献して参ります。

3. ミャンマーの経済発展の課題と本合併会社による当社支援の意義

ミャンマーの経済発展の課題と国家戦略の概要をまとめた表が以下です。ミャンマーは、2011 年の民政移管後、東南アジアの最後のフロンティアとして注目され、海外からの開発援助や直接投資が流入し、農業中心の経済から急速に工業化が進みました。しかし、さらなる発展のためには、①約 50 年国際経済界から隔離されたことによる生活・医療・教育・産業インフラの脆弱さ、②2011 年以降に続いた経常収支赤字による外貨不足が課題となっています。

ミャンマーの経済発展の流れと現状の課題及び今後の国家戦略の方向性

年	政権・政策	経済状況
1962～1990	極端に閉鎖的な 社会主義体制	国際社会からの経済制裁 約 50 年国際経済界から隔離
1990～2011	非民主的な軍事政権	生活・医療・教育・産業インフラ脆弱化
2011～2020	民政移管 経済自由化	経済制裁の解除 アジアの最後のフロンティアとして注目 海外からの開発援助や直接投資が流入 さらなる発展に向けた課題 ①脆弱な生活・医療・教育・産業インフラ ②2011 年以降続いた経常収支赤字
2020～	重点的な国家戦略	①生活・医療・教育・産業インフラの強化 ②国内産業の一層の強化による 経常収支黒字の定着化

当社はミャンマーの IT 業界では最大級でその国内事情に精通している ACE 社との合併会社を通じて、事業創成インキュベーション、ヘルステック、教育テック、アグリテックにより、国家戦略レベルの DX を支援し、二つの課題を解決に取り組んでまいります。

ミャンマーの国家戦略の方向性とスカラグループの DX 支援の意義

課題克服のための 重点的な国家戦略	①生活・医療・教育・産業 インフラの強化	②国内産業の一層の強化 による経常収支の黒字化
ACE 社との合併会社 を通じた DX 支援	➤ヘルステック、保険ソリューション、遠隔医療による医療インフラの拡充による安心・安全に暮らせる社会の実現 ➤教育テックによるミャンマー人材の質の底上げによる人が成長する社会の実現	➤アグリテックによるミャンマー農業の生産性アップによる輸出振興 ➤インキュベーションセンターにおいて国際レベルの即戦力エンジニアの育成 ➤マンダレー発のテックスタートアップ起業家育成による新たな産業創造

4. 「中期経営計画 COMMIT5000」における本件の意義

当社は、「中期経営計画 COMMIT5000」において、先に述べたように3つの能力を国内の民間企業だけでなく、国内外の民間・政府・自治体へサービス提供を行い、今後10年で数百兆円の市場となる①AI/IoTによるソリューション、②SDGsなどの社会問題を解決する二つの分野にフォーカスし、長期的には、売上収益、営業利益として、それぞれ2025年6月期に1,000億円、100億円、2030年6月期において、5,000億円、500億円の達成を目指しております。

本件は、高成長が著しい新興国において、①と②の分野に関連し「中期経営計画 COMMIT5000」の達成に貢献する大きなアップサイドポテンシャルのある取り組みであると考えます。

5. 合併会社概要

社名	SCALA ACE Co., Ltd.
Honorary Chairman	ウー・ティン・ウ (U Thein Oo)
Managing Director	榑野 憲克 (Norikatsu Nagino)
本社	MICT Park, Building-18, 7 th Floor, Hlaing Township, Yangon, Myanmar
事業内容	教育テック事業、ヘルステック事業、アグリテック事業
資本金	500,000 USD (約 54 百万円 ※1USD≒107 円)
株主	スカラ 35% ACE Data Systems Co., Ltd. 35% その他 30%

以上